

## 第6回防災文化講演会を気仙沼市で開催しました（2014/12/20）

テーマ：防災教育

場所：気仙沼「海の市」2F コミュニティ・スペース

12月20日（土）に気仙沼「海の市」にて、「被災から10年の中越・アチェより東北へのメッセージ」と題し、第6回防災文化講演会を開催しました（主催：災害科学国際研究所，共催：気仙沼市）。演者には稲垣文彦氏（中越防災安全推進機構復興デザインセンター長）、宮本匠氏（京都大学防災研究所特定研究員）、永見光三氏（独立行政法人国際協力機構震災復興担当）をお招きし、当研究所からは井内加奈子准教授（人間社会対応研究部門 防災社会国際比較研究分野）が講演を行いました。講演会には一般の方々約50名が参加しました。講演内容は、以下の通りです。

稲垣 文彦 「新潟中越地震から10年・東北に伝えたいこと」

宮本 匠 「災害復興と交流～身近な人との交流も～」

永見 光三 「インドネシア国アチェにおける津波復興過程について」

井内 加奈子 「インド洋大津波から10年の復興の歩み」

参加された皆様にはたいへん熱心に聴講していただきました。当研究所は、気仙沼サテライトとともに防災文化講演会を今後も開催し、本研究所が推進する防災・減災に関わる最新の調査・研究の成果に基づく災害科学情報を、気仙沼市や近隣にお住まいの方々ならびに関連する活動を実施されている方々に向けて発信していく予定です。



稲垣 文彦氏の講演



宮本 匠氏の講演



永見 光三氏の講演



井内 加奈子准教授の講演

文責：笠原 好之（災害医学研究部門）